

KONAN DAY

開催のご案内

甲南高等学校・中学校と甲南大学は、創立者・平生夙三郎の掲げた「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を伸張させる」という建学の精神のもと、人物教育を推進して参りました。

この度ご案内する「KONAN DAY」は、その一環として、高校1・2年生の段階から、大学の学部・学科紹介、模擬講義等を受けることによって、大学での学びを体験していただき、具体的なイメージを持っていただくことを目的とした、甲南大学と甲南高等学校・中学校の共催イベントです。

早い段階から大学での学びに触れ、高校卒業後の進路と、高校までの学びと大学での学びの違いについて具体的に意識・理解することが、これからの学習のモチベーションアップにつながることを期待しています。

2018年10月

甲南大学長 長坂 悦敬

甲南高等学校・中学校長 山内 守明

【開催概要】

日時: 2018年10月20日(土) 9:15～12:30

場 所: 甲南大学岡本キャンパス

対象者: 甲南高校1・2年生(全員)、および保護者(自由参加)

内 容: 学部(学科)紹介、模擬講義および保護者向けプログラム

<イベントに関する問い合わせ先>

甲南高等学校・中学校

TEL: (0797)31-0551

Mail: hs@adm.konan-u.ac.jp

各学部・学科の模擬講義内容

学部・学科	タイトルと内容（担当者）
①文学部 日本語日本文学科	現代の日本文学と精神分析の発達モデルの比較から見えること（田中 雅史 教授） 村上春樹、宮部みゆきなどの現代作家の作品にはさまざまな心理学的特徴が認められる。対象関係論や自己心理学などの現代の精神分析の発達モデルと比べることで、現代社会の問題点を浮き彫りにすることができる。小野不由美の十二国記シリーズを例にとり、そのことを考えてみる。
②文学部 英語英米文学科	ことばとはなにか（中谷 健太郎 教授） 私たちが当たり前のように話している「ことば」。では、動物にもことばはあると思いますか？人間のことばと動物のことばはどう違う？そもそも「ことば」とは何なのか。なぜすべての動物のなかで人間だけが服を着て自転車や車に乗っているのか？その秘密は「ことば」にあるかもしれません。「ことば」の正体に迫ります。
③文学部 社会学科	「マイルドヤンキー」について考える ～相対的剥奪感とアノミー～（阿部 真大 教授） 近年、「マイルドヤンキー」という言葉とともに、「地方の若者たちはお金がなくてもそこそこ幸せに暮らしている」ということがしばしば言われる。この講義では、社会学の観点から、それが本当かどうか考えたい。ポイントとなる概念は、①相対的剥奪感、②アノミーの二つである。講義を通して、社会学理論の面白さを感じてもらえればと思う。
④文学部 人間科学科	芸術ってほんとうに「感じる」もの？（西 欣也 教授） 私たちが美しい音楽や絵画に感動するのは感性の経験です。感じ方は人それぞれと言いますが、本当にそうでしょうか。素晴らしい作品に出会うと他人にも勧めたくなりますし、多くの人が認める優れた芸術作品が存在するのも事実です。この講義では、さまざまな哲学者の意見を参考にしながら、美しさの複雑な意味を考えます。
⑤文学部 歴史文化学科	大学で歴史を学ぶ—原典から考える（稲田 清一 教授） 「前221年に秦の始皇帝が中国を統一した」「邪馬台国の卑弥呼は魏に朝貢使節を送った」「北魏の孝文帝は均田制を施行した」「孫文は東京で中国同盟会を結成した」—どの教科書にも載っているこうした記述はどんな証拠に基づいているのだろうか。原典に遡ることで、大学で専門として歴史を学ぶ意味を考えます。
学部・学科	タイトルと内容
⑥理工学部 物理学科	エネルギーを有効に利用するには？—物理学的観点から—（梅津 郁朗 教授） エネルギーの有効利用は産業革命が始まって以来の人類の課題です。物理学はその最適な方法を教えます。熱エネルギーや太陽光エネルギーを例として、エネルギー変換の原理や有効な利用法を物理学の側面から考察します。最後に本学における最先端の太陽光エネルギーの変換に関する研究を紹介します。
⑦理工学部 生物学科	生命現象と物質 ～代謝経路を解き明かしデザインする～（今井 博之 教授） 高校生物の教科書には、発酵、呼吸、光合成などの代謝経路が詳しく記載されていますが、この中に登場する代謝物質はいったい何者なのでしょう？今回の講義では、19世紀後半のパスツール効果の発見の頃からはじまる代謝研究の歴史を通して、さらに、現代の代謝研究の成果から、古くて新しい代謝物質の実像に迫ります。
⑧理工学部 機能分子化学科	化学が変える世界 —最先端化学が生み出す新しいモノ—（木本 篤志 准教授） 化学が生み出してきた「モノ」は私たちの周りで様々な場面で活躍しています。しかし、実際には化学の進歩がもたらした恩恵を私たちが意識することはありません。この講義では、最近新しく出てきた「モノ」を中心に化学の果たす役割、さらにその先に待っている世界についてお話します。

学部	タイトルと内容
⑨経済学部	結婚市場における需要と供給 ―一夫多妻制で得するのは誰？― (村澤 康友 教授) 歴史的・世界的には多様な結婚制度があります。男性は一夫多妻制に憧れ、女性は一夫一妻制を絶対視する印象がありますが、経済学で考えると男性は一夫一妻制、女性は一夫多妻制の方が得なはずです。その説明に納得できるかどうか、ぜひ聴きに来て下さい。
⑩法学部	法学部で学ぶのは法学だけではありません (池田 佳隆 教授(学部長)) 法学部と聞けば「法律を学ぶ学部」と思い込んではいませんか。実は、法学部の学びのもう一つの柱として、政治学の科目がたくさん開講されています。例えば、西洋政治思想史・政治過程論・外交史・行政学・国際政治学などです。今回は政治学の学びについて説明します。
⑪経営学部	アメーバ経営が会社を変える―やる気を引き出す小集団採算制度―(杉山 善浩 教授(学部長)) アメーバ経営は京セラ名誉会長の稲盛和夫氏が考案した経営手法です。アメーバ経営では、大きくなった組織を「アメーバ」と呼ばれる小集団に分けてそれぞれ独立採算します。こうすることで現場の社員一人ひとりが採算性を考え、自主的に経営に参加する「全員参加経営」を実現します。
⑫知能情報学部	「数式処理プログラミング」入門 (松本 茂樹 教授) 数理科学に特化したプログラミング言語であるウルフラム言語について入門的なお話をします。ウルフラム言語により数式処理システムMathematicaを操りながら素数の神秘に触れる二三の話題をご紹介します！また、コンピュータ・プログラミングにおける考え方の基本についてもご説明したいと思います。
⑬マネジメント創造学部(CUBE)	①これからの社会で求められるデータアナリストとは ②ブランドをコミュニケーションする際の考え方。エモーショナルな絆を構築する、これから第五世代となるスマートフォンが果たす役割とは (佐伯 邦夫 教授) ①仕事の内容。必要な解析手法。何よりもプロジェクトをマネジメントするための求められる能力、CUBEで出来る事を話します。 ②ブランドとは。ブランドの持つ構造とは。ブランドに従来実施されていたコミュニケーション(高感度層/富裕層向けの雑誌、カタログ、ダイレクトマーケティング)。これから注目するアマゾン、楽天、メルカリの採る手法から見るニューロサイエンスの役割について話します。
⑭フロンティアサイエンス学部(FIRST)	バイオのヒミツとナノのヒケツ (三好 大輔 教授) フロンティアサイエンス学部では、ナノとバイオのナノバイオテクノロジーを学びの中心に据えています。ナノとバイオの共通点は何でしょう？二つが合わさると何かいいことあるのでしょうか？講義では、皆さんの身の回りにあるナノとバイオを紹介しながら、バイオのヒミツとナノのヒケツについて考えていきます。

保護者プログラム	タイトルと内容
1時限目:	地域とつながり地域で学ぶ―地域連携教育の可能性―(佐藤 泰弘 教授[地域連携センター所長]) グローバル化が進むなか、私たちが生きていく場は地域です。世界に向けた広い視野とともに、地域に根ざした活動が大切になります。甲南大学は自治体や企業と連携し、学生の活躍の場を広げてきました。各種の地域連携プロジェクトを通じた地域貢献や、学生の成長を紹介しながら、地域連携教育について話します。
2時限目:	大学生の就職事情と甲南大学の取り組み (古田 美保 教授[キャリアセンター所長]) 甲南大学の就職率の高さは関西私立大学の中でもトップクラスです。今の就職状況と、甲南大学が行っている学生サポート、そして、甲南高校から甲南大学に進学したみなさんの具体的な就職先なども含めた就職情報をお伝えします。
終了後:希望者のみ	KONAN INFINITY COMMONS(愛称iCommons)見学ツアー

KONAN DAY タイムテーブル

9:15~10:00	全体会(校長挨拶、学長講演、甲南高校OB(2名)による講演)									
10:15~11:15 (1時限目)	文 (日文)	文 (英文)	理工 (物理)	理工 (生物)	経済	法	経営	知能	CUBE①	FIRST
11:30~12:30 (2時限目)	文 (社会)	文 (歴史)	文 (人間)	理工 (化学)	経済	法	経営	知能	CUBE②	FIRST

APPROACHING KONAN'S 100th ANNIVERSARY



甲南高等学校・中学校および甲南大学の母体となる学校法人甲南学園は、2019年に創立100周年を迎えます。

甲南学園の歴史は、創立者・平生鈞三郎の志を継承し、常に人物教育と共に重ねられてきました。錚々たる卒業生を輩出し、また、現役生が様々な場で活躍していることから、実感いただけることでしょう。

この歴史の重みを十分に感じながら、中学・高校・大学が手を取り合い、「人物教育の甲南」を実現すべく、甲南生を社会に通用する人材に育てて参ります。

